

未来への責任を果たすために！ まつばら和生市政報告

KAZUO MATSUBARA

新しい時代の先頭を立って！

MENU

- HOME
- プロフィール
- 活動日記
- 私の思い
- まちづくり
- 議会での役割
- 本会議の質問
- 議会だより
- 所属党派
- メール
- リンク
- 選挙結果
- 後援会

岐阜市議会議員 **まつばら和生** かずお

県都岐阜市に魅力と活力を！
いつもお世話になり有り難うございます。皆さんのご期待に応えるよう一層努力してまいります。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

4年前の岐阜小学校に続いて、4月に岐阜中央中学校が誕生し、地元の金華・京町地区に関係する学校統合・再編が完了しました。地域の皆さんが複雑な思いの中で、未来のためにと決断し、変わる勇気を持たれたことは、行政が最もお手本とすべき所であり、市政の場でも変化を恐れず、改革に挑戦したいと改めて思っています。

PCサイト <http://www.matsubara-kazuo.jp>

岐阜市議会議員 松原和生のブログ

ブログ http://blog.livedoor.jp/matsubara_kazuo



ブログ
毎日更新中！

松原和生 検索

フェイスブックを始めました。
フェイスブック <http://www.facebook.com/matsubara.kazuo>

【はじめに…】

一昨年の改選から、新党派「市政ぎふ未来」として市政報告を作成しており、内容が一部重複するため、初当選から発行してきた「まつばら和生市政報告」を休止していましたが、この間のご意見等を改めて勘案した結果、地元版として再開することにいたしました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

【9月・11月議会より】

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会は成功裡に終了しました。その開幕直前となった9月議会では「ミナモ」ポロシャツの着用が認められ、私もテレビ中継の代表質問に、白のポロシャツ姿（左胸に鶺鴒をするミナモのデザイン）で登壇しました。※7項目の質問内容は、次ページをご覧ください。

11月議会は登壇者が18名で、9月議会より5名減りました。衆議院総選挙と日程が重なり、各党派が遠慮した結果です。

そのバランスから、前回代表質問の私が外れることになり、用意していた質問は次回に持ち越しました。



【決算認定の状況】

9月議会では、平成23年度決算（歳入総額で、一般会計1,627億円、特別会計1,022億円、企業会計279億円、合計2,928億円）の認定が行われました。

一般会計は市民1人当たり39万円となります。

一般会計の市民1人あたり地方債（借金）残高は32万7千円で中核市41市では少ない方から11番目。同じく基金（貯金）残高は7万6千円で多い方から8番目となっています。尚、本市の地方債の3割は、本来国から交付されるべき交付税の代替として発行したものであり、後日に国から補填される予定のものです。

財政健全化法による実質公債費比率は5.2%（中核市平均9.3%）。この数値が25%を超えるとイエローカードとなり財政再建計画の策定が義務づけられます。現時点では何とか大丈夫と言えますが、地方を取り巻く状況が厳しい中、過度な負担を将来世代に先送りすることの無いよう、今後の財政運営に注意していきたいと思っております。

※一般会計とは、基本的な行政運営全体を網羅する会計

※特別会計とは、特定の事業を行うもので、競輪、介護保険、国民健康保険、観光、駐車場など13会計

※企業会計とは、独立採算を追究するもので、市民病院、中央卸売市場、水道、下水道の4会計

予算要望書を提出

「市政ぎふ未来」の新年度予算要望書を、市長応接室で副市長に手渡しました（※当時、細江市長はケガで入院加療中）。記載の主な内容は、●防災・減災対策 ●子育て支援の拡大 ●大学病院跡地整備の推進 ●中心市街地活性化 ●福祉施策の充実 ●教育環境の向上 ●歴史を活かしたまちづくり ●公共交通の整備等の49項目で、所管委員会ごとでまとめ、私は建設委員会と厚生委員会を担当しました。

岐阜市は新年度重点政策の基本方針に「豊穰・人間主義都市」を掲げましたが、その実現のためにも必要な内容だと考えています。



未来に責任ある市政を

12月（衆議院議員総選挙公示の直前）の朝日新聞と中日新聞に、私達の会派の話題が掲載されました。両紙とも地方版では無く社会面です。

「私たちの会派と日本未来の党（平成24年11月28日設立）とは関係ありません。＝市政ぎふ未来（平成23年5月2日設立）」と控室の扉の外に掲示した写真と幹事長のコメントです。そこには、にわか仕立て（選挙用の目くらましで看板を塗り替えた）新党への、皮肉の意味も込めていました。※私達の会派は、岐阜市の「未来」に責任ある市政を進めるためにと集まった、超党派によるグループです。

国政の動乱に惑うことなく、私達は最大会派では無く最良会派を目指しながら、「未来」を見据えた議会活動を貫いていきたいと思っています。

今年も変わらぬご指導をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成23年12月1日(中日新聞)▶



まつばら和生後援会主催
日帰りバス旅行のご案内

今年もいろいろとありますように...

多賀大社・忍者屋敷 といちご狩り



☆出発日 平成25年2月10日(日曜日)

☆集合 伊奈波神社前広場 午前7時30分

☆行程 伊奈波神社前～多賀大社(参拝)
～信楽焼窯元(見学・屋敷)～伊賀流忍者屋敷
～いちご狩り～伊奈波神社前(午後7時頃予定)
※滋賀～三重間は新名神高速道路を利用

☆会費 6,000円

☆申込先 まつばら和生後援会(☎264-4853)まで
※2月5日までに申し込みください。

多賀大社・忍者屋敷といちご狩り参加申込書 平成 年 月 日

| | |
|-----|-----|
| お名前 | お電話 |
| ご住所 | |

※ご記入の上、会費を添えてお申し込みください。

プロフィール

昭和39年 12月、岐阜市生まれ 山羊座・B型・たつ年
昭和58年 岐阜教育大学附属高等学校(閉校)を卒業
昭和62年 愛知大学法経学部法学科を卒業
昭和62年 名古屋鉄道株式会社に入社
営業推進部リーダー、岐阜支配人室係長
平成11年 岐阜市議会議員に初当選(34歳)
平成15年 岐阜市議会議員に2期目当選(38歳)
平成19年 岐阜市議会議員に3期目当選(42歳)
平成23年 岐阜市議会議員に4期目当選(46歳)
この間、市監査委員、建設委員長、産業委員長
厚生副委員長、議会運営副委員長他を歴任

地域にて 金華自治会連合会相談役
岐阜小学校PTA顧問(前会長)
金華子ども会育成連合会副会長
岐阜市中消防団金華分団班長
岐阜スポーツ少年団野球部コーチ
名鉄労連岐阜地域協議会相談役
愛知大学同窓会岐阜支部相談役
民主党岐阜1区総支部副幹事長 他

資格 教員免許 高校・中学(社会)
総合旅行業務取扱管理者
岐阜市まちなか博士初級

岐阜市末広町12番地9 〒500-8042
TEL(058)264-4853 FAX(058)264-4800

■E-mail info@matsubara-kazuo.jp ■http://www.matsubara-kazuo.jp

Q1. 地域主権改革一括法への対応について(市長)

A. 地方分権を推進するため、国の法令の「義務付け」事務や「枠づけ」基準を廃止し、自治体の条例で規定するもの。本市では29の条例制定と16の条例改正が必要。地域特性を吟味した内容とするよう準備する。

Q2. 県の補助金カットへの協力期間満了について(市長)

A. 県は22年度からの3年間で920億の財源不足が生ずるとして「行財政改革アクションプラン」を策定、市町村向け補助金削減の要請があった。3年間で約10億円に上る。県内市町村と連携し復元について要望する。

Q3. 個人情報の漏えい防止策について(副市長)

A. 職務で個人情報が閲覧できる公務員等による漏えい事件を他山の石として対策を強化する。操作履歴の抽出チェックや異常アクセスの監視情報等を職員に知らせ、不正閲覧を抑止する環境を作る。研修等で倫理意識の醸成を図る。

Q4. 「みんなの森 ぎふメディアコスモス」の着工の遅れについて(都市建設部長)

A. 木造屋根の耐火性能について見解の相違があり、計画通知(建築確認)に時間を要している。完成は半年ほど遅れ26年秋、開館は27年春頃となる見込み。第2期整備事業(市庁舎建設を想定)への影響はない。

Q5. ごみ処理有料化の議論に関連して

(自然共生部長・環境事業部長)

A. ごみ有料化は財政面でなく減量化が狙い。ごみ減量・資源化指針の内、有料化だけが先行と言われないよう、リサイクルや生ごみ対策等も進める。手数料の用途については、制度の目的に合うものとして情報開示を行う。

Q6. 岐阜公園再整備計画について(都市建設部長)

A. 文化庁から保存すべき貴重な遺構はないかという意見があり、平地部分の再整備計画を中断していた。過去に県立図書館・水族館の建物や埋設管の敷設で掘り返されていることを説明、試掘調査を行ってようやく理解を得た。地元の意見も反映させて計画の策定を進める。

Q7. 生涯学習、市民参画を支える仕組みについて

(教育長・副市長)

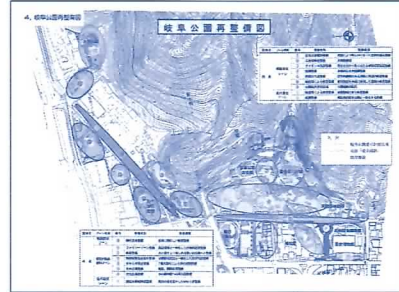
A. 県内では5市、近隣中核市でも岡崎市など、生涯学習と社会教育を市長部局で一括して所管する事例が増えている。地域・まちづくりにとってプラス面がある一方、配慮すべき事柄もあり、検討を尽くすよう関係部局に指示する。

詳しい議事録は、松原和生ホームページをご覧ください。岐阜市議会ホームページでは、本会議の様子が何時でも録画中継でご覧いただけます。

◆岐阜公園再整備方針(案)を策定

岐阜の名付け親でもある織田信長の時代、岐阜公園には信長居館や政庁、武家屋敷が立ち並び、天下に号令を発する信長の拠点として、実質的な国の中心でありました。最近では、岐阜城跡が国史跡の指定を受け、信長居館跡の発掘調査で成果が見られるなど、岐阜の持つ歴史資産が改めて注目を集めています。

そこで、本物の歴史の魅力を活かした「信長の鼓動が聞こえる歴史公園」をテーマに岐阜公園を整備し、鶴飼と並ぶ観光資源として誘客に役立てるとともに、市民の憩い・学習・交流の拠点とする、岐阜公園再整備方針(案)が策定されました。



戦国歴史ゾーン、近代歴史ゾーン、歴史的風致維持ゾーンに区分し、金華山・長良川の豊かな自然環境も取り込んだ、日本を代表する公園づくりを目指そうとしています。

再整備方針(案)については、11月16日から12月15日にかけて、パブリックコメントによる市民の意見募集が行われました。

地元出身の議員として、地域の思いが反映されるよう努力してまいります。

◆夜市(夜店)が移動して存続

伊奈波通りの夜市(夜店)の存続が、岐阜中警察署の石頭のために危ぶまれましたが、岐阜市役所の関係部署の連携で、1月から伊奈波神社前の市有地に移動して営業を続けることになりました。私が本会議で2回連続(23年12月、24年3月)で質問し、対応を求めた話です。移動後には、市の農林部長と農林部次長も様子を見に訪れ、この間の状況を聞いて、今後も応援することを約束。ポケットマネーでキャベツ他の採れたて野菜を買って帰ってくれました。

夜市(夜店)は、生鮮野菜を中心に生産農家の身近な直売所であり、大正

時代から「岐阜夜間市場組合」として運営されてきました。中心部の八百屋が減っていく中、地元の高齢者には生活に欠かせないものとなっており、また、とれたての新鮮野菜が魅力でわざわざ遠方から買いに来る人もあります。農業振興、賑わいづくり、まちの風物詩、高齢者の生活支援等々の観点から、存続への援助を強く求めてきましたが、ひと安心です。



新しい場所が定着して市民に愛され続けることを願います。皆さん、ぜひご利用ください。

◆市政ぎふ未来の行政視察

市政ぎふ未来の3人で行政視察の出張に出かけました。

視察地は、福島県双葉郡広野町と宮城県気仙沼市。東日本大震災の被災地の両市町へは、岐阜市から市職員が派遣されています。

両市町の担当部局から「被災状況と復興計画」について説明を受けた他、広野町では「放射線物質除染実施計画」について、気仙沼市では「震災がれきの処理」についても話を伺いました。また、それぞれ岐阜市派遣職員との意見交換の時間も設けました。広野町では、原発事故の放射線物質の被害で全町民に避難指示が出されました。除染は生活圏を優先して実施され、3月で避難指示は解除されましたが、町内生活者は1割に満たず、特に子どもが少ないとのこと。気仙沼市の震災・津波による死者は1035人、行方不明者は278人。住家被災棟数は15661棟という状況でした。報道で見たことのある、津波で流されたタンカー(=写真)は、撤去するか記録として残すか、市民の思いは複雑なのだそう。タンカーの周辺には、住宅等の基礎部分だけが残っていました。漁業で栄えた町の復興計画のサブタイトルは「海と生きる」だということです。



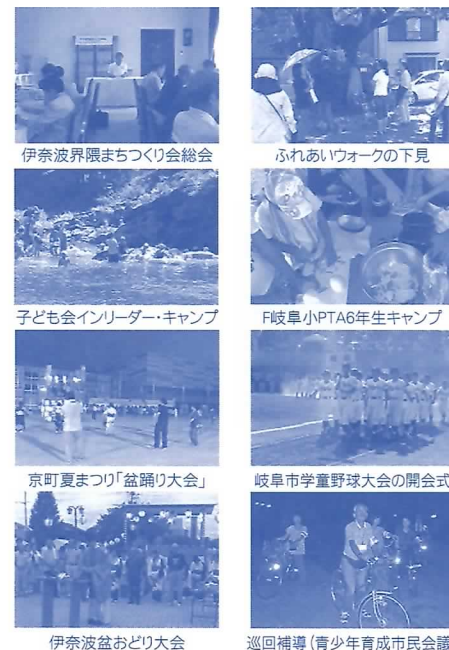
地域の安全・安心は、市政の取り組む最優先課題の1つです。防災・減災対策について考える上での参考にしていきたいと思います。

写・真・で・見・る・活・動・日・誌

7月



8月



9月



10月



11月



12月

